長期投資と資産運用の入門から実践まで

「長期投資仲間」通信
インベストライフ®

Vol.139
2014年07月15日　発行

発行人岡本和久
Ｉ-O ウェルス・アドバイザーズ株式会社【ホームページ】
〒150-0012　東京都渋谷区広尾1-8-6広尾186ビル7階
TEL：03-5789-9821　FAX：03-5789-9822
お問い合わせ：メールフォーム

今月のひとこと

「私はラーメンが好きです」というと、「どこかお勧めの店はありませんか」とすぐに聞かれます。これはとても答えるのに苦労する質問です。なぜなら、私自身、「今日はあっさりした昔風の東京ラーメンがたべたいなあ」と思った翌日は「今日は激辛坦々麺でもたべて体にカツを入れたい」、その翌日は「今日はたまにはこってりしたトンコツラーメンかな」などといつも好みは変化しているからです。まして、質問していただいた方の今日のお好みなど知る由もありません。

「どこかお勧めの店はありませんか」という質問はある意味、「どの銘柄を買ったら儲かりますか」という質問と似た部分があります。しかし、こちらは質問者の財産状況も知らなければ、すでにどんな銘柄を持っているかも知らない。投資期間がどのぐらいを想定しているのかもわからない。ですから答えようがないのです。多くの方が何かひとつの正解がありそれを誰かが知っている。その結論だけを教えてほしいと思っているのです。

残念ながら、手っ取り早く他人に教えてもらえる「答え」などないのです。要するに自分に合った資産の配分を決め、十分に分散された高品質、低コストのファンドを積み立て投資していくより方法はありません。人生を通じての資産運用の司令塔は自分以外にはいないのです。

FACEBOOK上でクラブ・インベストライフの仲間が活発な議論をしています。FACEBOOKに登録している方、ぜひ、ご参加ください。（2014年7月14日現在で参加者数はちょうど2326名です。）

今月号の記事をすべてダウンロードする

金銭教育の「草の根運動」を広げよう

岡本　和久

自分たちのできる範囲で少しでも経済や金融、投資の知識を広めていこうという運動が芽生え始めていることはとても勇気づけられます。ごく普通の方々が草の根啓蒙活動を始めています。今回、ご紹介するのは「経済に強いママを増やす会」（川元由喜子さん、赤堀薫里さん）、退職後のコミュニティ活動にマネー教育を行う（田村正博さん）、お蕎麦屋さんでマネー・レッスン（RSさん）の三つの活動です。

読んでみる

世界株式探検隊：株価指数で世界の株式市場を探訪

講演：小原沢　則之氏、レポーター：川元　由喜子

日頃、目にする事の多い株価指数も奥深いものがあります。今回はその分野で長く研究・実務に携わってこられた小原沢さんに世界株式の指数について教えていただきました。

読んでみる

中国がわかるシリーズ21　文帝（隋）の治世

ライフネット生命株式会社 代表取締役会長兼CEO、出口　治明

クラブ・インベストライフとは？

人生を通じての長期投資は孤独な長旅です。この長旅に耐え、大きな喜びを得るには、資産運用を行うための基礎となる知識と孤独な旅を支えあう仲間が必要です。「将来の自分はいまの自分が支える」ほかない時代、クラブ・インベストライフの活動は、豊かで幸せな人生のための投資を目指しています。

毎月、ネット上で会報誌を公開するほか、FACEBOOKやTwitter上で議論の場を提供し、各地でのセミナーを開催しています。

まったく投資の経験のない方も多数、参加しておられます。大手金融機関から完全に独立しているので、特定の商品をお勧めすることも販売することも一切ありません。

<FACEBOOK、TWITTERへの投稿の際のお願い>

1. 個別商品の販売・推奨、あるいはそれに類する投稿はご遠慮ください
2. 発言はあくまで個人としてのものとしてください
3. 企業広告はご遠慮ください

Ｉ－Ｏウェルス・アドバイザーズのメール・マガジン

メルマガへのご登録は下記のメールアドレス宛に、空メールを送信下さい。購読は無料です。

mag@i-owa.com

毎月15日配信　無料

Facebook

Facebook上のグループ、クラブインベストライフ
http://www.facebook.com/groups/investlife/

Facebookへの登録が必要です。リクエストボタンを押して入会申し込みをしてください。

Facebookへはこちらをクリック

Twitter上のグループ
クラブインベストライフ
http://twitter.com/c_investlife

Twitterへの登録が必要です

@c_investlifeさんをフォロー

中国を300年振りに統一した隋の文帝は、名宰相、高ケイ（ケイはヒ+火+頁）の助けを借りて、矢継ぎ早に新機軸を打ち出しました。開皇の治の始まりです。まず律令（開皇律令）を整え、[北]魏以来の、均田制※1（口分田を配給）、租庸調制、府兵制（均田制と対を成す制度で、6軒の家で馬や食料自弁の兵1名を出す仕組みです。その場合、租庸調は免除されました。兵は衛士と呼ばれ、全国に置かれた軍府に集結しました）などの中央集権政策を継続、強化し、三省六部※2と呼ばれる中央政府の組織を整備しました。

読んでみる

I-OWAマンスリー・セミナー座談会より 「指数について考えてみよう」

小原沢　則之氏、岡本　和久

私達インデックスの業界で働いている者にとって、今インデックスは、成長期にあると捉えています。私どもも含めて、インデックス・ベンダーと言われる会社がいくつかありますが、ここ数年で、ものすごい数の新しいインデックスの開発をし、色々なタイプのインデックスを出しています。その背景として、一番大きいのはETFの存在です。ETFは、株価の指数、あるいはなんらかの指数で表現されていれば作れるのです。今は、昔ながらのパッシブ運用だけではありません。どちらかというと、昔で言えばアクティブ運用のたぐいものをインデックスの形にすることによって、ETFという商品にできます。つまり、どんどん新しいタイプのものができるわけです。

読んでみる

インベストライフ応援団のブログ　あいうえお順、敬称略　紹介一覧はこちら

伊藤宏一の「近現代日本と貯蓄」―貯蓄は美徳なのか―
伊藤　宏一

右脳インタビュー
片岡　秀太郎

実践コーポレートガバナンス研究会・ブログ
門多　丈

鎌田泰幸のブログ
鎌田　泰幸

会長 澤上篤人のレポート
澤上　篤人

世代を超える想いの滴
渋沢　健

真マネー原理
滝沢　伯文

About Money，Today
竹川　美奈子

一日一言ブログ
竹田　和平

出口治明の提言：日本の優先順位
出口　治明

積立王子のブログ
中野　晴啓

CFA流「さんない」投資塾
日本CFA協会

SRIのすすめ　未来の測り方
速水　禎

毎週3分で、資産運用の成功へ導くメルマガ！
尾藤　峰男

馬渕治好の凸凹珍道中
馬渕　治好

森本紀行はこう見る
森本　紀行

参考データ・コーナー

基本ポートフォリオのパフォーマンス

データ提供：イボットソン・アソシエイツ・ジャパン／投信まとなび

今月は日本株式をオーバーウェイトしている4資産型のパフォーマンスが良好でした

読んでみる

投信データ・ウォッチ

データ提供：イボットソン・アソシエイツ・ジャパン／投信まとなび

バックナンバー　一覧

- 2014年06月16日発行 Vol.138
- 2014年05月15日発行 Vol.137
- 2014年04月15日発行 Vol.136
- 2014年03月17日発行 Vol.135
- 2014年02月17日発行 Vol.134
- 2014年01月15日発行 Vol.133
- 2013年12月16日発行 Vol.132

バックナンバー
2012年12月までに発行されたインベストライフをご購入いただけます。
購入・詳細

投信の純資産上位ファンドのパフォーマンス比較です

読んでみる

I-OWAたより

I-OWAマンスリー・セミナー講演より「バフェット・バブル？『バフェットの法則』から何を学ぶか」

講演：岡本　和久、レポーター：川元　由喜子

今年も5月3日に、ウォレン・.バフェット率いるバークシャー・ハサウェイの株主総会が開催されて、大変多くの人が集まったと言われています。バフェットは大変優れた投資家ですが、表面だけを真似るのは危険です。みなさんも私もバフェットではないのですからね。では、個人投資家として彼から何を学んだらよいのでしょう。

読んでみる

連載 資産運用「茶飲み話」（4）

岡本 和久

★運の良い会社の見分け方：まず、経営者は「開眉仰月口」か？　★バブルのピークでは全員が長期投資家になる　★アセット・アロケーションを真剣に考える人ほどインデックス運用を使う　★『トーシカ・ホイホイ』にご用心

読んでみる

岡本和久のI-OWA日記

★世田谷区桜木中学校で授業　★広島でセミナー　★岡山でセミナーを開催しました　★こどもトラストセミナーでお話をさせていただきました　★資産運用「気づきのタネ」（121）最強の積立投資法、バリュー平均法　★I-OWAマンスリー・セミナー（2014.06）が開催されました

詳細はこちらをご覧下さい。

セミナー案内

★I-OWAマンスリー・セミナー 7月20日(日)12:30～16:30@東京都渋谷区広尾　講師： 平山賢一、岡本和久　★秋田セミナー7月26日(土)13:30 ～ 16：30@秋田　★大人と子 供のためのハッピー・マネー教室 夏休みの自由研究はこれで決まり！8月8日13：30～ 16：30@東京都目黒　講師：岡本和久、たなべきよみ、馬渕治好　★I-OWAマンスリー ・セミナー　8月17日（日）12:30～16:30@東京都渋谷区広尾　講師：伊藤宏一、岡本 和久　詳細は当社HPで

詳細はこちらをご覧下さい。

Page Top

Copyright © I-O Wealth Advisors, Inc. All rights reserved.

マネー教育の「草の根運動」を広げよう

岡本　和久

＜マネー・投資教育について思うこと＞

マネー教育や投資教育の必要性が言われて長い時間が流れました。そしていまも同じことが言われています。

確かに巷には投資セミナーが氾濫しています。しかし、それらは本来の資産運用や長期投資を広めるための場ではなく、どちらかと言えば自社の商品を売りたいという「プロダクト・セミナー」です。それは当然のことで多くの場合、プロダクト・セミナーはその投資商品を販売している証券会社や銀行などが主催しているからです。これらの企業だって営利を目的としているのですから、コストをかけてセミナーをするならどこかでその見返りを得ようとするのは当然のことです。ですから、特定の商品に興味がありその内容を詳しく知りたいという方にはプロダクト・セミナーは価値があると思いますが、人生を通じてどのように資産運用をしていこうかということを知りたい方にはあまり有益ではないでしょう。

一概にすべてがそうだとは言えませんが投信会社が主催するセミナーについても同じようなことは言えます。投信会社の収益源は運用資産額です。運用資産額が増えなければどんなに理念や哲学が正しくてもビジネスとしては成り立たないのです。当然、経営としては資産残高を増やすことに重点が置かれがちです。そのためにはやはり自社の商品を強調するプロダクト・セミナー的な色彩が強まることも仕方ないでしょう。

どちらにしても、無料のセミナーでしかも、立派なホテルでお茶やお菓子がでて、おみやげまでもらえるようなセミナーとなると、そのコストは投資商品を買ってくれる人から回収することになります。ですから、ここでも「ノー・フリー・ランチ（只メシはない）」の法則が生きています。仮にその投資商品を買わなくても時間という貴重な資源を失っていることになります。

行政や日銀、証券取引所、業界団体なども金銭教育や投資教育に力を入れ始めています。これは決して悪いことではないのですが、問題はこのような組織が金銭・投資教育をしようとするとどうしても、大手金融機関の意見などを中心に方向性が決まってしまいます。その結果、どちらかとい

Copyright　ⓒI-O ウェルス・アドバイザーズ株式会社
発行人：岡本和久、発行：I-O ウェルス・アドバイザーズ株式会社
URL: http://www.i-owa.com；E-mail: info@i-owa.com

うと供給者目線の教育になりがちで、完全に生活者、消費者の立場に立ったものとは言えないケースが多くなってしまいます。

大学となれば経済学も金融論も当然その範囲に入ってくるでしょう。しかし、小学校、中学校、高校となるとその内容は、はなはだお寒いものがあります。最近は仕事を体験したり、社会人、経営者などに授業をしてもらうようなケースが増えて来ていますがまだまだ、「先が長い」というのが現状です。

出版業界や雑誌、テレビなどのメディアも必ずしも本当に消費者の味方とは言えません。本も雑誌も売れなければ出版社はやって行けませんし、テレビだって視聴率を上げないことにはスポンサーがつきません。その結果、メディア全般にやはり「煽り系」と呼ばれるような過激な本の題名や内容を好むようになります。テレビ番組もゴシップ的な話題が中心になってしまうのも同じ理由によるものでしょう。

結局、生活者である普通の人たちが正しい経済・金融や投資の知識を得ようとしてもなかなか良いチャンスがないのが現状なのです。そして、このような図式はゆっくりと改善されていくものとは思いますが、それは非常に時間のかかるプロセスです。時間がかかるということは、生活者が持っている貴重な資源である「時間」を失ってしまうということです。

「とても、待っていられない」と思う方が自分たちのできる範囲で少しでも経済や金融、投資の知識を広めていこうという運動が芽生え始めていることはとても勇気づけられます。今回はごく普通の方々が始めた草の根啓蒙活動を紹介したいと思います。言うまでもなく、これらはまだまだバケツのなか水の一滴にも満たない規模です。でも、みなさんも、できる範囲でまわりの方にお金を話をしてあげるようになれば事情は改善していくことでしょう。草の根運動とはそういうものです。「自分がやったって世の中変わらない」と思ったら負けです。少しだけでも自分の力で世の中に影響を与えることが大切なのです。今回紹介するのはそんな活動を始めている方々です。

＜経済に強いママを増やす会　～　「経ママ」＞

最初にお邪魔したのが川元由喜子さんと赤堀薫里さんが主宰している経済に強くなるママを増やす会、通称、経ママでした。川元さんは証券会社、運用会社などを経て現在、独立系投信会社でファンド・マネジャーをしています。六年生のお母さんでもあります。川元さんの最初の挨拶は以下のようなものでした。

> 「私がこういう会をやろうと思ったのは、そもそもずっと金融業で働いてきていたのですが、子育ての過程で子供にどのようにお金のことを教えようかと考えたからです。まあ、自分の子供

Copyright　ⓒI-O ウェルス・アドバイザーズ株式会社

は自分で勝手に教えていればいいのですが、少し前にやはり多くの子供にお金のことを教える必要を感じた事件があったのです。数年前になりますが「オレ、オレ詐欺」というのが流行りましたよね。その事件で逮捕されて連行されていく人を見るとごく普通の若者なんです。どこにでもいそうなイケメン風のお兄ちゃんです。そういう子はたぶん、お金を稼ぐためには少しぐらいは悪いことをしなければいけないと思っているのではないでしょうか。ちょっと怪しいアルバイトぐらいの感じで詐欺に加担してしまう。それを見て、本当に怖いなあと思ったのです。

そんなことがきっかけでもっと子供に正しくお金のことを知ってもらうにはどうしたらいいのかなと考え始めたのです。自分の子供が何かのはずみでそのようなことに手を染めだしたら怖いですよね。そんなことがきっかけでした。そんな時、大学生の就職の話を聞きました。彼らの考えを聞くとものすごく保守化しているのです。みんな、就職先は安定していればいい。そんな考えです。でも、お金を稼ぐことってそれでいいのかなという疑問も生じました。もちろん、安定性が大切であることはわかります。私は 80 年代中ごろ、バブルの始まりごろに社会に出ましたが、金融機関は我が世の春でした。その後、バブルが崩壊して「もう金融機関の権威は地に落ちた」というような感じだったのですが、いまやその金融機関が人気就職先の上位を占めています。

私の疑問は働くということを考えるとき単に安定しているということだけが価値なのかということです。結果として安定しているのはいいけれど、最初から安定を目指すのでいいのか。だから働くことの意義を考えるとき、もう少し広い見方があってもよいのではないかと思うのです。学校ではもちろん色々なことを学んでいますが、就職などに際してすごく保守化しているのはやはり家庭教育ではないかと思うんですね。特にお母さんは影響が大きいのでママに経済に強くなってもらうことが大事なのではないかと考えたのです。お母さんが「安定、安定」と繰り返しているとそれが子供に刷り込まれている。私は本来、若者はそれほど安定志向ではないと思っています。やはり、家庭教育が重要です。もっと、お母さんがお金のことを積極的に考えて欲しいなあという願いを込めてこの会を始めました。」

こんな前置きに続き、川元さんによればこの会の原点である、「子供にお金をどう教えるか」というお話が始まりました。講演内容の要点をまとめた配布資料を参考までに紹介します。

Copyright ⓒI-O ウェルス・アドバイザーズ株式会社

子どもにお金の話をする

生きる力としてのお金の知識
お金のモラルを身につける
どうやって、子どもに伝えるか

- お金の役割を知る
- お金を通して経済の循環を知る
- お金も循環していることを知る
- お金を稼ぐことの意味を知る
- お金の良い使い方とは
- 未来の自分の為に貯める
- お金と幸せの関係
- 最後に、「寄付すること」について

続いて川元さんのパートナー、赤堀薫里さんの講義です。赤堀さんは 5 歳の男の子のお母さん、FP でもあります。最近は高校や専門学校でも金融教育の授業をしているそうです。

「赤堀薫里と申します。よろしくお願いします。私には 5 歳の息子がおりまして、いまは卒園対策委員会になってしまい、毎日、幼稚園グッズや防災ずきんを縫っています。若いころに家庭科の授業をおろそかにしていたツケがいま回ってきていてミシンと格闘しています。小さい頃から当たり前のように身に付けたお母さんもいるんですよね。母親が家庭科が好きで裁縫をやってる方は上手にできます。残念ながら私の母はそういうタイプではありませんでした。今すごく身に染みているのは生活をしていく上で裁縫というのも 1 つのスキルなんだなと思っています。

お金のことも生活をしていく上で 1 つのとても大切なスキルなんですよね。今日の話も金融教育の現場からというタイトルになっているのですが、それほど偉そうなことを申し上げられる立場ではありません。昨年からファイナンシャルプランナー協会は高校や中学校専門学校などでインストラクターを派遣してそこで講義するということをやっています。私はそのインストラクターに登録をしたのです。それで昨年から現場に足を運ぶようになっています。なぜそのようなことになったのかという事ですけれども、金融リテラシーを身につける為には、知識の習得に加え、健全な家計管理・生活設計の習慣化、金融商品の適切な利用選択に必要な着眼点等の習得、必要な場合のアドバイスの活用が重要です。これらは金融庁の金融経済教育委員会の資料から抜粋したものなのですが、国の方でも、生活に必要な生活上のスキルとして

Copyright ⓒI-O ウェルス・アドバイザーズ株式会社

の金融リテラシーというものを身につけることが必要であるということも言っています」。

赤堀さんの最初のテーマは家計管理でした。赤堀さんのお母さんたちに対する最初の質問は「家計簿をつけていらっしゃる方、手を挙げて下さい」でした。おずおずと手を挙げる方、手をあげない方がいらっしゃいました。赤堀さんは続けます。

「家計簿をつけていない方の家計の収支はどうでしょうか。赤字ですか、黒字ですか？収支は黒字か赤字かというのはとても大切ですよね。でも、それと同時に、何に使っているのかというのもとても大切なことです。なぜなら収入というのは、そう簡単には上がらないからです。ご主人が大黒柱として収入を稼いでる方は多いと思います。さらに、私も働こうかと思っても継続的に安定的な収入を得ていく事は、これはなかなか困難です。そのような環境の中で、皆さんは子育てをされています。

私の息子も今は幼稚園ですが、小学校に入学し中学、高校と進学をしていきます。状況はだんだんと変わっていきます。成長のステージによって、今後、どれぐらいの資金が必要かというのは変わってくるのです。ですから、もし収支を把握していなかったり、赤字だったりすると、本当に必要な時に必要な資金が使えなくなってしまわけです。未来に使うべきお金を今、先取りして使ってしまうということになるのです。ですから、現時点でのお金の管理がとても必要なのです。それほど細かくなくても結構です」

このようにして、赤堀さんの話は続いていきます。お母さん方も熱心にメモを取りながら聞いている方がたくさんいらっしゃいました。

赤堀さんのレジメです。

金融教育の現場から

①家計管理・・・適切な収支管理

Copyright ⓒI-O ウェルス・アドバイザーズ株式会社

②生活設計・・・ライフプランの明確化及ライフプランを踏まえた資金の確保の必要性の理解
③金融知識及び金融経済事情の理解と適切な金融商品の利用選択、金融取引の基本としての素質・金融分野共通・保険商品・ローン・クレジット・資産形成商品
④外部の知見の適切な活用

（金融庁　金融経済教育委員会より）

パーソナルファイナンスの教育

Lesson1　高校生活とパーソナルファイナンス
Lesson2　お金を知る
Lesson3　お金を使う
Lesson4　お金を稼ぐ（働く）
Lesson5　お金を貯める・増やす
Lesson6　お金を借りる
Lesson7　お金のトラブルに巻き込まれない為に
Lesson8　税金と社会保険
Lesson9　万が一に備える
Lesson10　ライフプランとお金

社会人として経済的に自立して、より良い暮らしを送っていく為には、生活設計の習慣化と金融商品を適切に利用選択する判断力・知識が重要であり、何より自ら得ようとする意識が大切です！

こうして 2 人の話が終わりました。その後、お母さん方と川元さん、赤堀さんとの懇談会が始まりました。学校における金融教育と家庭における金融教育の関係、お小遣いの問題など幅広い議論がありました。特に学校にお金を持っていかせることの是非。一部の子が、お金を持ってきていて、他の子供におごってあげる、それによって何か子供の間に上下関係ができてしまう。そういうときにどのような注意の仕方をしたらいいのか。また、お金が足りなくなったらいくらでも出てくると思っている子供がとても多い事。お金は「使ってしまったらなくなるんだよ」と言う基本的なことが十分に分かっていないケースが多い。大人にとっては当たり前のことでも教えなければわからない子供たちがたくさんいるということです。私にとっても非常に参考になる持論が展開されていました。

川元さん、赤堀さんからは「経ママ」に対する思いをまとめてもらいましたので紹介をします。

川元由喜子さん

Copyright　ⓒI-O ウェルス・アドバイザーズ株式会社

「経済に強いママを増やす会」として話をするようになって、3 年半が経ちました。年に数回ずつというペースですが、近くにお住いの子育て中のお母さんたちに、経済や金融に関わる色々な話をしてきました。

自分で子育て中心の生活をしてみると、お母さん方にとって、経済も金融も如何に縁遠い存在かということが、よくわかります。毎日消費活動をし、家計を管理しているにも関わらず、経済や金融について知る機会はとても少ないのです。何よりも社会そのものが、母親は経済などには興味を持たないものだ、と決めつけているかのような雰囲気を感じます。お母さん方同士のおしゃべりでも、経済が話題になることは、ほとんどありません。

しかし、母親は家庭教育の中心です。子どもたちの将来に、大きな影響を与える存在です。毎日の生活の中で、お子さんと色々な話をするでしょう。その母親たちが、経済やお金について多くのことを知っていれば、そして子供たちに折に触れて話をすれば、子どもの目に映る世の中は、また違った意味を持ってくるでしょうし、子どもたちが自分の将来をイメージするうえでも、何かの指針を得られると思うのです。

というわけで、意気込みは十分といったところですが、お母さん方とひと口に言っても、もちろん関心の程度やその向く先は様々です。全く関心が無いという方も当然いらっしゃいます。お金は天下の周りものだから気にしなくていいの、というお返事も有りましたし、小さいころからお金の話ははしたないと言われて育ったからどうしても拒否反応があるという方も。

一方、非常に熱心に、毎回欠かさず参加して下さる方もいらっしゃいます。中にはもともと金融業界にいたという方もありますが、それこそ全く土地勘がないという方もいらっしゃる。どなたも賢明で素晴らしいお母さんたちなのに、彼女たちが経済や金融について知らないなんて、何ともったいない事でしょう。また、学びたいと思っているのに学ぶ機会が無いというのは、本当に残念なことです。そういう場を提供できているだけでも、嬉しいことです。

興味のある人にも無い人にも、お金は人生を大きく左右します。ですから本当は、興味の無い人にもたくさん参加してほしいのです。そのためにはどうしたらいいか、とにかく足を運んでもらうこと、そこが一番難しいところですね。また、皆さんお子さんが大きくなってくると働き始める人が増え、なかなか日程の調整が難しいという問題もあります。最近は新たな試みとして、「赤ちゃんといっしょ」シリーズと銘打ち、小さいお子さん連れの方中心に集まっていただく、という企画もやってみました。来年には、区で講演させていただくことも決まりました。

何が正しいやり方か、手さぐりで進みながらも、とにかくまずは諦めずに長く続けていくことを目指しています。世の中に、経済に強いママが増えれば、きっといいことがあるはずと信じて。

Copyright ⓒI-O ウェルス・アドバイザーズ株式会社

赤堀薫里さん

私がママになってから、早 5 年の月日が経ちました。妊娠した時から、女性は、生活や仕事をする上で制限が出てくるのと同時に、取り巻く環境が一変します。そして、子育てが始まると、社会と遮断された感がより強くなり、取り残されていくと感じることは否めないでしょう。「イクメン」「ワーク・ライフ・バランス」という言葉が、世の中で囁かれるようになりましたが、まだまだ子育ては、女性がメインの仕事となっている気がします。ママと経済は、一番対角線上に位置する中、ママが学びたくても、セミナーの開催は、ほとんど平日の夜。「このまま、ママだけ社会から取り残されていいのかしら？」という思いが募っていた頃、川元さんから「経済に強いママを増やす会」を一緒にやらないかと誘われました。しかも、岡本さんがアドバイザーだという心強い言葉を聞き、二つ返事で始めたのがきっかけでした。

子どもを対象とした金銭教育は、「お小遣いゲーム」を始め、民間企業等で多少なりとも活動は行われています。また、学校のカリキュラムの中にも公民科・社会科・家庭科等の中に含まれていますが、その時間の絶対数は心もとない状況です。そして、残念ながら先生も金銭教育に比重をおいていません。しかし、社会人として独り立ちする時は、お金との付き合い方の知識や経験もない状態でも、自らが選択し、その結果も自分で責任を取らなくてはならないのです。

◆ 働く意義をちゃんと踏まえて就職しているのか。ただ、お金を稼ぐ為だけではなくて、生きがいや社会貢献ということも考えていますか？
◆ 本当に自分が必要な時に、必要な金額を使えるようにする為に、ライフプランを立てていますか？
◆ お金を稼げば、必然的に税金を徴収されます。その税金は何に使われているのか知っていますか？
◆ 社会保険料を支払うことによって、どんな給付を受けることがきるのか知っていますか？
◆ 民間の保険や住宅ローンも金融商品です。身の丈に合ったお買い物をしていますか？

言いだしたらきりがありませんが、経済的に自立していく為に必要となる知識と判断力は、否応なしに求められます。しかし、今の日本では、教える場所として学校にそれを求めるのは難しいでしょう。つまり、家庭がその受け皿になるしかないのです。そうなると、子育ての一番の担い手であるママ達の出番となります。我が家の収入源はどこからきているのかを伝えることで、お金の流れが学べるでしょう。

また、ママはお買い物をする時に、「なぜこれを買うのか」一度立ち止まって考えてみることも大切です。「安いから？」、「社会貢献しているいい会社が作っている会社だから？」、また、「欲しいから？」、「必要だから？」と理由を考えてみてください。ママと一緒にお買い物をする子供達は、お金を使う時の価値基準が、ママの背中を通じて良くも悪くも自然に身についていきます。

Copyright ⓒI-O ウェルス・アドバイザーズ株式会社

消費をすることは、世の中のお金の流れを変えることができます。いい企業の商品を買えば、いい企業が残り、いい世の中にしていくことが出来るのです。しかし、社会や経済と一番遠い存在になりつつあるママは、お金に関して学ぶ場所や、情報交換を行う場所が、ほとんど皆無と言っていいでしょう。

そこで登場した「経済に強いママを増やす会」では、子供たちが、幼稚園や学校に行っている時間帯に、川元さんや私のママ友を中心として、口コミで、細々と活動を行っています。草の根運動ですが、少しずつ着実に輪が広がってきています。ゆっくりと時間をかけて、子供の成長と共に、この会も成長していくことができれば嬉しい限りです。そして未来を担う子供達が、お金と上手に付き合うことで、日本の発展の一助につながることを夢見ています。

＜退職後のコミュニティ活動にマネー教育を行う＞

続いてご紹介するのが某食品会社を定年退職された田村正博さん。2007 年にインベストライフが開催した「投資ルネッサンス 2007」の事を新聞のセミナー案内で知り参加。それ以来、インベストライフのセミナーや I-OWA マンスリー・セミナーの常連となっていただいています。就業時代は特に金融分野には関係なかったのですが、いまはかなり投資・金融の知識を蓄えられたと推察します。

岡本| 先日のマンスリー・セミナーのとき、ピギーちゃんのハッピー・マネー教室の紙芝居をコミュニティでやっていただいていると伺い今日はそのお話を伺いたいと思いお時間を頂戴しました。

田村| お恥ずかしいです（笑）。私が副会長をしているコミュニティで「平成の寺子屋」という活動があります。子どもさんたちとおじいちゃん、おばあちゃんたちが交流するイベントです。輪ゴムの射的やどんぐり工作など小さな子どもから小学生を中心に昔ながらの遊びを体験してもらうのです。その一環としてやらせてもらったのです。

岡本| それは地域の自治会が主催しているのですか。

田村| そうです。年二回行っています。サンコーポ浦安というマンションの自治会です。非常に大きな団地で 1100 所帯、約 3000 人の方が住んでいます。昭和 53 年にできた建物なので、

Copyright ⓒI-O ウェルス・アドバイザーズ株式会社

いつも売り物もある一方、3000 万円弱と比較的若い方も買いやすい価格なのです。その意味では住人の世代交代は起こっています。私はここに住みだして 20 年ぐらいになります。建設当初から住んでいる方が子ども夫婦に頭金を出してあげてこのマンションに呼ぶケースも多く、結構、三世代で住んでいる方も多いのです。高齢者は四世帯に一人ぐらいでしょうか。

岡本| その意味では自然に世代を超えて子育てをするという雰囲気ができてきているわけですね。

田村| その目的のための集会所も二か所、団地内にあります。

岡本| それで紙芝居をしてどんな感じでしたか？

田村| 初めてだったのですが、結構、興味を持って最後まできちんと聞いてくれ安心しました。まあ、どこまで理解したかはわかりませんが・・・（笑）。

岡本| それはそうでしょうね（笑）。だいたい、そんなもんです。そもそも、やってみようと思われた動機は？

田村| 現役時代の仕事は金融には全然、関係なかったのですが、インベストライフやマンスリー・セミナーで色々勉強させてもらってきました。何か良いチャンスがあればと思っていたところ、2013 年 6 月のマンスリ―・セミナーで良い教材を紹介してもらったのでそれを使ってやってみようと思ったのです。

岡本| 2013 年 4 月からピギーちゃんを発売し、同時に画家のムムリクさんとのコラボで作った紙芝居をお披露目したときですね。

田村| 話をすると自分にも色々気づきがあり勉強になりますね。今回は話をするだけでしたが、やはり簡単なペーパー一枚でもあった方が良かったかなと思いました。お菓子は準備されていたんですけどね（笑）。やはり、手渡せるものがあった方が記憶に残るでしょう。缶バッジでも良かったと思います

岡本| 缶バッジはおっしゃっていただければ提供しますよ。先日、コモンズ投信さんの子どもトラストのセミナーでお話をしたのですが、その時は、紙芝居の後に一人ずつ、大きな紙の真ん中にピギーちゃんを貼って、紙を「つかう」、「ためる」、「ゆずる」、「ふやす」と四分割してそれぞれに自分の欲しいもの、やりたいことなどを書いてもらいました。これは結構、面白かったです。そして一人ずつ発表をしてもらったのです。これはとても面白かったです。

Copyright ⓒI-O ウェルス・アドバイザーズ株式会社

田村| あ、それはいいですね。

岡本| 参加者は小学校低学年から中学生まででしたが、私にいい勉強になりました。「つかう」のところはやはり、マンガとか、文房具が多かったですね。そうそう、プチトマトって書いた子もいました（笑）。可愛いですよね。「ためる」のところで多かったのは携帯、スマホ、ペンタブレットなどが中心でした。「ゆずる」で多かったのは洋服でした。リサイクルしたり、発展途上国に送ったりということなのだと思います。

田村| フリーマーケットに出したりするイメージなんでしょうか。

岡本| 多分、そうでしょう。「ふやす」では、試験の点数を増やすというのがありました。これは「よくできました」マークですね。それから木を増やしたいという子がいました。理由を聞いてみたら木登りが好き（笑）というのです。でも、「ふやす」というとお金のことしか思い浮かばない大人にくらべて本当に自由な発想を子どもは持っているなと感動しました。

田村| こちらが気づくことが多いですね。

岡本| お金の話をするというとき何か抵抗のようなものはありませんでしたか？

田村| その点では自由でした。また、参加者も紙芝居と聞いて集まったのかも知れません。

岡本| 夏休みにもやったらどうですか？

田村| 夏は夏祭りと子ども神輿、盆踊りなどのイベントが目白押しのようです（笑）。

岡本| お子さんを持つ家庭の悩みの一つは夏休みの自由研究です。私はお金の話などをテーマにする子がもっと増えたらいいのにと思っています。田村さんがどうして投資に興味を持ったのかを少し聞かせていただけますか？

田村| 就業時代の最後の 5 年ぐらいはお客様センターというところにいました。その業務を人たちが会社を超えて集まる会合があったのです。そこで他者の話を聞いていると本当にいい会社というのがあるのです。それでああいう会社だったら株主になっても良いなと思うようになったのです。そんな時にインベストライフが主催した投資ルネッサンス 2007 があり、少しずつ投資に興味を持つようになりました。

岡本| 実体験に基づいた投資なのでわかりやすいですよね。

Copyright ⓒI-O ウェルス・アドバイザーズ株式会社

田村| 直販型の投信と、あとは少し好きな企業の株式に投資をしています。妻は投資には興味がないのですが、オリエンタル・ランド株は買って欲しいと言い買いました。浦安でディズニーランドの地元ですから株主優待を目当てに周りでも買っている人が多いようです。

岡本| 色々と興味深いお話をありがとうございました。ぜひ、これからも草の根運動を続けてください。今日は貴重なお時間頂戴してありがとうございました。

＜お蕎麦屋さんでマネー・レッスン＞

最後にご紹介するのは主婦の RS さん。以前、証券会社に勤めていたこともあり、退職後も投資を楽しんでいます。最近、お蕎麦屋さんのアイドル・タイムを利用してマネー・レッスンを始めたと聞き取材しました。

岡本| そもそもどういう経緯でマネー・レッスンが始まったの？

RS| 私の知り合いなのですが、お父さんが資産家で亡くなったときに株を相続したらしいのです。それで近所の大手証券に何も考えずに口座を開いたとのことでした。その株式を売ろうと思ったのですが、その時、初めてその証券会社でしか売れないことに気づいたというのです。

岡本| なるほど。普通の商品なら自分が買ったものをどこで売ろうと自由だけれど、株式は移管するという手はあるにしても、一般的には買った証券会社でしか売れない。投資経験のない人だったら不思議に思うでしょうね。

RS| 結局、そこで売却したのですが、少しコストよりも高く売れて「良かった！」と思ったのですが手取りを見ると思ったほど儲かっていない。調べてみたら非常に高額の手数料を取られていたのです。2 万円ぐらい儲かったと思ったら手数料が 1 万円とられて手取りは半分の 1 万円しかなかったんだそうです。そこで私が前から「ネット証券だったら手数料が安いよ」と言っていたのを思い出し、たまたま会った時にそんな話題になったのです。「時間のある時に教えますよ」とその時は伝えておきました。

岡本| 年代は 60 歳ぐらいだそうですね。お蕎麦屋さんで・・・。

Copyright ⓒI-O ウェルス・アドバイザーズ株式会社

RS| そうです。それで「何が必要？」と聞くので「パソコン」というと、持っていないというんです。「パソコンがないとネット証券での売買はできないよ」というと、「じゃあ、何とかします」ということで、家の近くの家電量販店にすぐに行ったそうです。行ってみたら店員さんに「株の売買ぐらいだったらタブレットでも十分です」と言われたようです。それにパソコンだと 10 万以上するのにタブレットなら少し型落ちしていたら 4～5 万であると言われたのです。結局、第二世代の iPad を 4 万円ぐらいで買ったのです。それを見ていたご主人が、「自分もやりたいなあ」と言い出し、その場で 2 台 iPad を買ったそうです。予算が 10 万だったので 2 台買うことができたと言っていました。

岡本| でもタブレットもパソコンも使ったことなかったのでしょう？

RS| まったくわからなかったようです。娘さんが出動して、急きょ、どうやって起動するかから勉強したそうです。ともかくそれで準備ができたのです。「では、いよいよやりましょう」ということでまずは私の家に来てもらいました。ご近所ですのでね。そして、その約束をする時に、「実は夫も参加したいんだけど、いいかなあ」という話になりました。「それに・・・、娘もやりたいと言うんだよね」と言うんです。ともかく三人が iPad 持参で私の家に来ました。概略を知ってもらおうと思い、まず、私が普段使っているパソコンで画面を見せながら、チャートや、売買の注文状況がわかる「板」などを見せてあげました。値段が動いているのがわかるのですが、「これ東証につながっているんだよ」と言ったら「え～！」と驚いていました。あと、売買代金別のランキングなどの画面を出してあげたら大喜びでした。そして、注文の出し方も教えて初日のレッスンは終わりました。

岡本| それで口座の開設は？

RS| ちょうど私の使っているネット証券でお友達紹介キャンペーンがあったのです。さらに娘さんのご主人もやりたいということになって結局、4 人を紹介することになりました。四人ともメールアドレスを持っていなかったので急きょ、作ってもらい口座を開設、MRF に現金を入れました。

岡本| 入金はスムーズにできたのですか？

RS| 大手銀行は実店舗とネット・バンキングを両方持っていることも知らず、ネット・バンキングも使えるようにしました。振込手数料がゼロになるなど特典が多いですから。そして、ネット・バンキングの ATM に現金を入れ、ネット証券に送金をしたのです。ネット・バンキングに口

Copyright ⓒI-O ウェルス・アドバイザーズ株式会社

座を開くのも奥さんは運転免許を持っていなかったこともあり、色々と面倒はありましたが、ともかくようやく体制が整ったのです。

岡本| 面倒見のいい RS さんだからできたんだねえ。感心します。

RS| ここでさらにもう一人参加するんです。お嬢さんのお姑さんが対面型の証券で取引をしていたのですが、ネットでの取引に変更したがっているというので「仲間に入れてもらえるかなあ」という話になったのです。そもそもこの話があったご夫妻はお蕎麦屋さんなのです。3 時から 5 時がアイドル・タイムなのでその時間帯に大きなテーブルを囲んで勉強会を始めました。

岡本| 銘柄はどうやって選んだの？

RS| まず、「銘柄には銘柄コードというのがあるんだよ」というところから教えました。「興味のある銘柄を見つけたらまずその銘柄コードをノートにつけておくといいですよ」という話をしました。ご主人が本当に熱心で小さなノートいっぱいに自分が興味を持った銘柄について細かい情報を書き込んでいるのです。全体の金額もそれほど大きくないので買った銘柄が値下がりしても比較的気楽に損切りをしているようです。これが対面型証券だったらとてもコストがかかってできないですよね。

岡本| そして成績は？

RS| 2000 円とか、3000 円の利益ということもあるようですが、少しずつでも積み重ねていてプラスにはなっているようです。最初は二週間に一回ずつ勉強会をしていましたが、最近はかなり独り立ちしてきているのでそれほど会を開いていません。

岡本| すごいですね。もともと興味があったとは言え、本当に無理なく誘導してあげている。

RS| テレビのニュースや新聞などで株式市場が話題になって、みんな、一応、興味があってもなぜか自分とは関係ないと思っている人が多いのです。まず、「教えてくれる人が誰もいなかったのでできなかった」という人が多いです。問題は何がわからないのかがわかっていない。セミナーなどもあるけれど、何がわからないかわからないから参加できない。「気軽に教えてもらえる人がいなかったのでできなかった」という人が多いです。やってみたら「こんなに楽しいんだ」ということになっています。

岡本| 面白いねえ。貯蓄から投資へなどと掛け声をかけ、投資教育が大切だと誰も言っているけれど本当はもっと入口のところのケアが必要なんだね。

Copyright ⓒI-O ウェルス・アドバイザーズ株式会社

RS| そうですね。潜在的には興味を持っている人がたくさんいます。実際に第一歩の踏み出し方がわからないのです。

岡本| でも、その最初のご夫婦はまず iPad の使い方から覚えて、ネット取引に入ったというのはすごいね。

RS| いまは売買の楽しさを喜んでいますが、これで塩漬けになる銘柄が出てきたりすると株主優待などにも目が向いてくるのでしょうね。いまはまだ売買を楽しむ段階です。私は岡本さんには長期投資を教えられているけれど、彼らはまだ短期売買ですね。

岡本| まあ、まず興味を持ってもらうことが必要ですよ。そのうち痛い目にあってやっぱり短期売買は難しいという事に気づいていくのでしょう。RS さんの投資戦略は？やっぱり株主優待狙い？

RS| 私は株主優待目的の銘柄と投資収益を狙う銘柄で分けています。株主優待銘柄でも絶対に売らない銘柄がいくつかあります。お蕎麦屋さんは岡本さんにも一度、講師で来てほしいと言っています。

岡本| 行きますよ。講演料は天ぷらそばをお願いします（笑）。

RS| はい（笑）。でも、ニュースで株価や為替の動きを気にするようになったと言っています。地政学リスクなども含めてニュースはしっかり見てくださいと言ってあります。お蕎麦屋さんのご主人は使用人もいるので営業時間中も結構、iPad で株価を見てるようです（笑）。仕事中に指値変更したり・・・（笑）。すごく良かったのは「ボケ防止」になるって言っています。あと、夫婦で共通の話題ができたのもありがたがっています。とにかく毎日が楽しいと言っています。

岡本| お話を聞いていて本当に草の根レベルで投資文化を広めていくことが重要だという思いを強くしました。これからもマネー・レッスンを広めてください。

どうでしょう。読者のみなさま、できる範囲で、気楽に、周りの人たちとお金のことを話してみませんか？それが本当の草の根運動につながっていくのだと思います。

Copyright ⓒI-O ウェルス・アドバイザーズ株式会社

I-OWA マンスリー・セミナー講演より
世界株式探検隊：株価指数で世界の株式市場を探訪

講演：小原沢　則之氏、レポーター：川元　由喜子

日頃、目にする事の多い株価指数も奥深いものがあります。今回はその分野で長く研究・実務に携わってこられた小原沢さんに世界株式の指数について教えていただきました。

小原沢　則之（おはらざわ　のりゆき）
ラッセル・インベストメント株式会社
ラッセル・インデックス部門　インデックス・ストラテジー・ディレクター
…ラッセルが提供する各種指数に関連するリサーチやビジネス開発を担当
1977 年　東京工業大学工学部卒業。財団法人日本不動産研究所、日興證券株式会社入社、同社で投資工学研究所副所長を勤めたのち、1998 年、株式会社グローバル・ラップ・コンサルティング・グループ代表取締役社長。1999 年、ラッセル・インベストメント株式会社（旧フランク・ラッセル・ジャパン株式会社）入社、現在に至る。
ラッセル・インベストメントにおいては、情報テクノロジー部門の統括、金融機関などとの提携、業務の企画推進、年金資産運用コンサルティングなどを担当。コンサルティング部長を経て、2008 年から現職。
主な著作に「新版現代証券事典」（日本経済新聞社）共著、「株価指数先物取引の基礎」（近代セールス社）共著など。証券アナリストジャーナルなどに複数の論文あり。証券アナリスト協会検定会員、　不動産鑑定士

「世界株式探検隊」というのは、ラッセル・インベストメント社で出している月次レポートのタイトルです。ラッセル社は年金のコンサルティングから始まった会社で、運用会社の良し悪しを評価するために市場の指標が必要だったことから、それらを自ら開発することになったのです。よく知られているのは、ラッセル 1000、および 2000、3000 といったもので、中でもラッセル 2000 は、ニュース報道などでも、ダウ、SP500 と並んで参照されています。

株価指数はまず、ダウ平均を始めとする平均株価から始まり、少し後になって S&P500 や TOPIX のような、時価総額加重指数という概念が出て来ます。その後、一つの国だけでなく複数国の市場を含めた世界株価指数も発表されるようになります。さらに議論が進み、今は浮動株調整株価

Copyright　ⓒI-O ウェルス・アドバイザーズ株式会社
発行人：岡本和久、発行：I-O ウェルス・アドバイザーズ株式会社
URL: http://www.i-owa.com；E-mail: info@i-owa.com

指数というものが、一般に使われています。株式の持ち合いなどで市場に出て来る可能性のない株式を除き、市場で流通している時価総額を使おうというものです。さらには、バリュー指数、グロース指数というものも、市場には数多く出ていますし、ラッセル社では、ディフェンシブ、ダイナミックという指数も出しています。こんなふうに株式指数も進化しています。

世界の株価指数には、まず国別の指数、それからアジア・太平洋、中南米、欧州というように分けた地域別指数があります。それに、それぞれの大型、中型、小型株。成長・割安、さらにセクター別・業種別などがあります。

市場成熟度別指数というのは、先進国市場、新興国市場、新興国未満の「フロンティア」市場と分類したものです。こうした分類には大きく 2 つの目安があり、一つは経済の成熟度、もう一つは株式市場の制度や規制などの成熟度、ということになります。中国や韓国は、経済規模も大きくて経済という意味では先進国に入ってもいいのかもしれませんが、投資の観点からすると、投資したお金が簡単に戻ってくることが出来ないといった市場規制の面がありますので、まだ新興国に分類しているという状況です。また、ギリシャは今は新興国ですが、去年の途中までは先進国に分類されていましたし、エジプトは 6 月末に、新興国からフロンティアに格下げされる予定です。それぞれの国の事情があって、投資の安全性が損なわれるとなると、格下げということが起こるのです。

世界指数に投資することの利点は、複数の国や地域に網羅的に投資でき、分散化されたポートフォリオで、平均的なパフォーマンスが得られることです。一方、外貨に対する為替のリスクを負うことになりますが、為替ヘッジを前提とした商品を選ぶこともできます。

講演ではこの後、クイズを通して楽しく世界の株式を「探検」しました。トップ 100 銘柄で米国の次に多い国は？　成長株の比率が高い国は？　昨年のパフォーマンス 1 位の国は？　過去 10 年間のパフォーマンスが高かった国は？・・・等々。そして最後に、日本、中国、ギリシャ、ロシアに過去投資していたらどうなったか、投資期間別にパフォーマンス比較をしていただきました。

Copyright　ⓒI-O ウェルス・アドバイザーズ株式会社

I-OWA マンスリー・セミナー座談会より
「株価指数について考えてみよう」

小原沢　則之氏、岡本　和久

岡本| 指数をよく見ると二つの方向性がありますよね。一つは、中を細かく区切って分割していくトレンドと、地域、グローバル、エマージング、フロンティアといった、全体をまとめて大きく見ていくトレンドと、両方の側面があり、それが同時に起こっているわけです。そういう意味では、細かく輪切りにしたり、ダイスに切ったり、全体をまとめたりという動きがあります。そうして、たくさんできてくる指数それぞれについて一つずつ ETF やインデックス型の投資信託ができています。背景としては、グローバル化が進む中、外国の個別銘柄がわからないということも一つの背景としてあるでしょう。また、投資対象の単位が、個別銘柄からグループに移ってきている気がします。

小原沢|そうですね。私達インデックスの業界で働いている者にとって、今インデックスは、成長期にあると捉えています。私どもも含めて、インデックス・ベンダーと言われる会社がいくつかありますが、ここ数年で、ものすごい数の新しいインデックスの開発をし、色々なタイプのインデックスを出しています。その背景として、一番大きいのは ETF の存在です。ETF は、株価の指数、あるいはなんらかの指数で表現されていれば作れるのです。今は、昔ながらのパッシブ運用だけではありません。どちらかというと、昔で言えばアクティブ運用のたぐいのものをインデックスの形にすることによって、ETF という商品にできます。つまり、どんどん新しいタイプのものができるわけです。そのターゲットは、従来からあるアクティブ運用です。これをある種インデックスの形で表現できれば、アクティブ運用商品の高い運用報酬を払わず、ETF のような形で商品を買えますので、投資家のニーズが、そこに出てくるでしょう。従来は、アクティブ運用的な商品だったものが、今はインデックスになり、ETF

Copyright ⓒI-O ウェルス・アドバイザーズ株式会社
発行人：岡本和久、発行：I-O ウェルス・アドバイザーズ株式会社
URL: http://www.i-owa.com；E-mail: info@i-owa.com

になっているという流れがあります。

岡本| 結局、ポートフォリオ分析が、非常に精緻にできるようになってきた為、インデックスを細かく分けることによって、そのインデックスの組み合わせにより、アクティブに似たポートフォリオを作れるようになってきたわけですね。私が前にいた会社でも、アメリカ市場を 8 つの小さなセグメントに分けて、その 8 つの部品を組み合わせることでマゼランファンドのレプリカみたいなものを作っていました。構成要素は、それぞれ全部インデックス型になっていますから、フィーはすごく安く済むわけです。そこでどのような部品を作れば一番汎用性があるかという視点から商品が開発されるわけです。そういう意味では、インデックス運用と、本来の意味のパッシブとは違ってきていると思います。以前もこのセミナーでお話しをしましたが、パッシブというのは、基本的に現代ポートフォリオが言い出した、マーケットポートフォリオであり、本来、あらゆる投資対象を全て含んでいるものなのです。しかし、そのような指数は現実には存在せず、その代替指数としてグローバルな株式が使われていたのです。その前はアメリカの S＆P500 が一番近いと言われていましたが、今は段々グローバルになってきましたからね。そういうものと、市場の一部分のみを取り上げて、一定のフォーミュラ、一定のプロセスに基づいて運用し、それをインデックス化することが行われています。そして、そのインデックスに連動するアクティブ運用というものがあります。だからアクティブ・インデックスというものが、かなり出てきたということですね。

小原沢|特にインデックスを少し上回りたいという年金などは熱心ですね。

岡本| アクティブ運用に対する評価の基準が非常に厳しくなっていることは間違いないです。これは指数が分割化された結果です。昔は、『うちはバリュー投資で頑張っています。』と言えば、マーケット全体と比べて良ければ、『いいでしょう』で済みましたが、バリュー株の指数が出てきた為、『バリュー指数に負けているじゃないですか。』という議論になってきていますからね。アクティブの運用者は、スタイルに忠実でなければいけないと同時にスタイルの指数に勝たねばならないという面で非常に厳しくなってきています。

小原沢|一般的に、株式のポートフォリオのパフォーマンスは、3つの要素で分かれます。一番目は、株式全体の動きを表すベータ値。二番目は、先ほどから出ているように、例えば、バリュー・マネージャーのポートフォリオは、割安株全体と一緒に動くというようなスタイル・指数との比較。三番目は、その中に入っている一つ一つの銘柄、この銘柄を如何に厳選して選ぶかということです。バリューのポートフォリオは、バリュー銘柄が沢山ある中でどれを選ぶか？最後の個別の部分があります。最後の個別の部分は、インデックスではどうしても拾えない。これはスキルのあるアクティブ・マネージャーが、一生懸命見つけてくれることを信頼するしか選びようがない。最初の二つは、マーケット全体、あるいは、バリューという性格を持った株式のパフォーマンスは、インデックスで買うことができますよね。

Copyright ⓒI-O ウェルス・アドバイザーズ株式会社

岡本| 結局、アクティブのマネージャーも、その三番目の要素をちゃんと生み出しているかどうかが、はっきりわかるようになってきたわけです。マーケット全体や、ある特定のバリューやグロースといった、一つのグループですよね。その部分は指数で計算されていますから、それを上回るプラス・アルファを、この人は高いフィーをとって生み出していますかということが、問われるようになってきているわけです。アクティブ・マネージャーでやっていくのは大変なことだと思います。

小原沢|それと、証券会社の今までのような『個別株どうですか？』という売り方は、時代遅れになってきて、変わっていかざるを得ないでしょうね。私は、機関投資家向けの運用をやっていますので、ついポートフォリオと考えてしまいます。しかし、個人投資家の方は、ご自分の持っている哲学や、考え方に沿って、考えればいいと思います。パフォーマンスだけじゃなく、『こういう会社を応援したい！』とか、いろいろな基準がその中では働くのでしょう。ただ、私がやっている、インデックスの世界では、どうしても分散化された、ポートフォリオがどうだ、というような所にいってしまいます。そうなると、『なるべく効率的なものはどれか？それを追及していくにはどうすればいい？』ということになります。個別の株式の投資は、私は個人でやっていませんが、個人で応援したい企業があれば、それでいいのだと思います。バフェット的な考え方で、事業として自分が応援したいということも、決して否定できることではないですよね。

岡本| 私が最近書いた『自分でやさしく殖やせる確定拠出年金最良の運用術』という本に書いてありますが、『年代が 70 歳を超えたら脳トレ投資！』。これは、個別銘柄投資のススメです。自分で仮説を立てて、新聞読んだり、セミナーに出たりして、一株ずつでもいいから五銘柄位を買ってみる。そして、結果がどうなるか検証してみる。それを続けていけば、すごく知的な刺激になると思います。別にそれで生活費を稼ごうというわけではなく、余裕資金で、最低単位でいいからとにかくやってみるというのはいいと思います。

岡本| 一つ、指数の所で私自身疑問を感じているのですが、グローバル化が進んでくることによって、国という単位でみた時の相関係数が、かなり上がってきていると思います。一方でこれからの銘柄選択は、国ごとというよりは、むしろセクターによるアロケーションが重要になってくるのではないでしょうか。今は、ほとんど分散を考える上で重要なのは国ですよね。セクターで見た方が、効率がいいのではないかと思うのですがどうでしょうか？

小原沢|セクターというものは、一つのやり方だと思います。先ほどあった、バリュー、グロース、ディフェンシブ、ダイナミックというタイプは、セクターに関しては、バイアスが結構かかっています。例えば、ディフェンシブという指数には、どこの国のポートフォリオを見ても、必需型の消費財、飲食、ヘルスケア、攻撃的なものの比率がダイナミックより高いですね。そうい

Copyright ⓒI-O ウェルス・アドバイザーズ株式会社

う銘柄を持っていると、値動きが割と少ない。値動きが少ない分だけ、それなりに安定的な成長を示している所があります。それを例えば、個別にヘルスケアに投資する、必需消費に投資する、というのもいいのでしょう。しかしもう一つ、ディフェンシブというくくりで、そういうセクターにバイアスのかかった指数を選ぶというやり方も、もう一つあるのかなと思います。逆にダイナミックは、金融株のウェイトがかなり高くなり、値動きの上げ下げが大きいですね。金融株に投資するという気持ちがあるのなら、ダイナッミクに投資する。逆に金融株を下げたかったら、ディフェンシブに投資するという形でやるのも一つかなと。新興国投資も、どの産業が伸びていくのかと言った時に、新興国の中の内需的なものが、まだまだ生産年齢の人口が増えて、国の中で内需的なものが出てくるだろうと考えるなら、新興国というフィルターで投資するのではなく、そういう国々の内需的なものを見ていく、という様に見方を変えてみる。つまり『成長の源泉が、どのセクターにあるのだろうか？』ということですね。投資信託のテーマで追っているのも、結構そういうような所があります。ただ残念ながら、投資信託の場合は、次にテーマが浮かび上がると、その商品が忘れ去られてしまうところがあります。投資するのなら、長い期間投資していくというスタンスで、このように見ていくというのもやり方ですね。

岡本| 今日は指数について、いろいろと深く考える、またとないチャンスだったと思います。ありがとうございました。

Copyright ⓒI-O ウェルス・アドバイザーズ株式会社

中国がわかるシリーズ 21　文帝（隋）の治世

ライフネット生命株式会社
代表取締役会長兼 CEO、出口　治明

中国を 300 年振りに統一した隋の文帝は、名宰相、高ケイ（ケイはヒ+火+頁）の助けを借りて、矢継ぎ早に新機軸を打ち出しました。開皇の治の始まりです。まず律令（開皇律令）を整え、[北]魏以来の、均田制※1（口分田を配給）、租庸調制、府兵制（均田制と対を成す制度で、6 軒の家で馬や食料自弁の兵 1 名を出す仕組みです。その場合、租庸調は免除されました。兵は衛士と呼ばれ、全国に置かれた軍府に集結しました）などの中央集権政策を継続、強化し、三省六部※2 と呼ばれる中央政府の組織を整備しました。

地方には、州（郡）県制・郷里制（100 戸が里、5 里が郷。郷正を任命して農民を統制する仕組みです）を敷いたのです。短期間でこれだけの新機軸を打ち出した政権は、おそらく始皇帝以来でしょう。なお、開皇律は、世界で初めて罪刑法定主義を定めた刑法典である、とも云われています（西欧では、領主が恣意と慣習に従って領民を裁いていた時代です）。文帝の治世末期には、人口も急増し、ほぼ漢帝国の水準（5～6000 万人）を回復しました。

　また、文帝は、仏教治国策と呼ばれるほどの仏教を中心に据えた宗教政策を推進しました。名建築家、宇文ガイ（ガイはりっしんべん+豈）の手になる長安大興城は、洛陽や建康に代わって仏教の中心地となりました。大興城の仏寺の大伽藍は、倭国の遣隋使など外国からやってきた外交使節の目を奪ったことでしょう。倭国でも、仏教を受け入れようとした蘇我氏が、廃仏派の物部氏を滅ぼし（587 年）、596 年には法興寺（飛鳥寺）が完成していました。なお、蘇我馬子とともに倭国の政治をリードしたとされる聖徳太子については、確かな史実が乏しく、実在を否定する学者もいます。聖徳太子が制定したと云われる 17 条の憲法には、隋の仏教治国策の影響が強く見られます。

晩年の文帝は、中国全土の要地 111 箇所に、仁寿舎利塔を建立し（わが国の国分寺の淵源になったと思われます）、信仰の中心地としました。なお、600 年に（文帝の）長男を失脚させて皇太子となった次男、楊広も、即位前に、天台宗の開祖、智ギ（ギは豈+頁）から菩薩戒を受けています。かように、隋は仏教を重視した国家であったのです。

Copyright　ⓒI-O ウェルス・アドバイザーズ株式会社
発行人：岡本和久、発行：I-O ウェルス・アドバイザーズ株式会社
URL: http://www.i-owa.com；E-mail: info@i-owa.com

※1「均田制」

中国では、民衆≒農民の生活（再生産）をいかに保障するか、という問題が、最大の政治課題でした。儒家は、周代に行われたとされる井田制（1 里四方 900 畝の土地を 9 等分し、中央の区画を公田、残りの 8 区画を私田として 8 家族に分与。8 家族が共同で耕作した公田の収穫を税とする仕組み。なお、1 里は約 500m）を理想としましたが、この系譜に連なる制度として、曹操の屯田制、[西]晋の武帝の占田・課田制、[北]魏の孝文帝の均田制が挙げられます。隋唐の均田制は、口分田（返還の要あり）80 畝、永業田 20 畝（合計 100 畝。約 6ha）から成り、これに対応する租庸調は年間 50 日の力役に相当しました。

この他に雑徭が最大で 40 日と仮定しますと、年間の約 4 分の 1 が、農民の租税負担となる計算になります。なお、人頭税（租庸調）の他に、地税や戸税もありました。均田制は、敦煌やトルファンで出土した文書では、その実施が裏付けられていますが、大土地所有制が進んでいた中国本土でどの程度実施されたのか、という問題については、いまだに定説がありません。

※2「三省六部」

三省とは、中書省、門下省、尚書省を指します。中書省は皇帝に直属する政策立案・立法機関、門下省はその政策・立法の審査機関、尚書省は行政機関であって、その下に六部が置かれました。六部とは、吏部（人事院）、戸部（財務省）、礼部（文部省）、兵部（国防省）、刑部（法務省）、工部（建設省）を指し、この制度は、原則として清の時代まで維持されました（なお、六部を補完する九寺、五監と呼ばれる役所が置かれ、また、独立して官吏の糾察を所管する御史台が設置されていました）。但し、封駁と呼ばれる中書省への差し戻し権を有していた貴族の牙城、門下省は、皇帝の独裁権の確立に伴い縮小傾向を辿り、早くも唐の後半には機能しなくなりました。いずれにせよ、隋唐帝国では、政府の組織・制度や行政に係るほぼ全ての項目が、令に成文法の形で規定されていましたが、これは、当時の世界にあっては驚くべき先進性と言う他はありません。

Copyright ⓒI-O ウェルス・アドバイザーズ株式会社

I-OWA マンスリー・セミナー講演より
バフェット・バブル？「バフェットの法則」から何を学ぶか

講演：岡本　和久、レポーター：川元　由喜子

今年も5月3日に、ウォレン・.バフェット率いるバークシャー・ハサウェイの株主総会が開催されて、大変多くの人が集まったと言われています。バフェットは大変優れた投資家ですが、表面だけを真似るのは危険です。みなさんも私もバフェットではないのですからね。では、個人投資家として彼から何を学んだらよいのでしょう。

バークシャー・ハサウェイは、元々、綿花を生産する古い繊維会社で、1965年にバフェットがパートナーシップで買った会社です。その後、バフェットとパートナーたちは経営権を取得し、繊維事業から撤退、同時に保険会社や鉄道会社を買収し、製造業や小売業も保有する持ち株会社のようになっていきました。こういう成り立ちなので、バフェットとしては、証券というよりも事業を買っているんだ、投資と企業経営は同じだという意識が非常に強いのです。これは重要なことだと思います。

バフェットは自分の投資手法について、「15%　フィリップ・フィッシャー、85%　ベンジャミン・グレアム　」言っています。グレアムというのはバリュー投資の始祖であるだけでなく、正に「元祖証券アナリスト」。徹底的な分析に基づいて、価値よりも株価の安い株式を買うというスタイルです。一方のフィッシャーは、定性的な分析による成長株投資。並はずれて優秀な企業を、誰も注目しないうちに買って、忍耐強く持ち続けるのです。この二人の考え方を併せ持つ形で、バフェット流の銘柄選択が出来ているのです。

事業を選ぶ上では、シンプルで、自分で理解できる事業であり、安定した事業実績があること、そして長期的に見通しが明るいこと。経営者は合理的で、株主に対して率直に話し、組織の習性に屈せず自分の信念に基づいて経営を続けていける人物であること。これらの点をバフェットは重視しています。

また財務については、一株あたり利益ではなく株主資本利益率を重視し、外部からの資金調達をせずに済むだけの十分な利益（オーナー利益）をあげているかどうか、利益を留保する場合は、株

Copyright　ⓒI-O ウェルス・アドバイザーズ株式会社
発行人：岡本和久、発行：I-O ウェルス・アドバイザーズ株式会社
URL: http://www.i-owa.com；E-mail: info@i-owa.com

式市場でより価値の上がる使い方をしているかどうか。そして、その事業の価値を、将来にわたるキャッシュフローを現在価値に割り引いたものから算出し、それよりも遥かに安い金額で買うことを考えるのです。

バフェットは知識の無い投資家向けには、定期的にインデックスファンドに積立投資をすればプロよりいい成績をあげられるとアドバイスしていますが、投資知識がある程度あってビジネスの数字を理解できるならば、フォーカス投資、つまり長期的にビジネスの優位性を保ちながら株価が割安な企業を 5～10 銘柄ぐらい保有するという方法を勧めています。あくまで企業の一部を所有するつもりで、大きなチャンスには大きく投資し、そして永遠に保有するのが理想であると言っています。

講演では、バフェットの重視する「オーナー利益」や「ルックスルー利益」といった概念の詳しい解説や、ビル・ゲイツの財団に巨額の寄付をしたエピソードなどのお話を伺いました。さらに、現実の市場と、理論上の完全な市場との関係に議論が及び、最後に「バフェットの手紙」から、投資の基礎について、いくつかのメッセージを紹介していただきました。

Copyright ⓒI-O ウェルス・アドバイザーズ株式会社

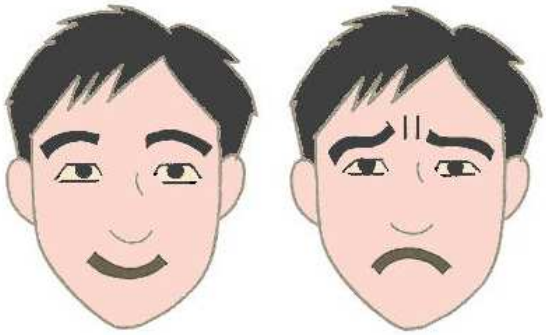
連載 資産運用「茶飲み話」(4)

岡本 和久

運の良い会社の見分け方：まず、経営者は「開眉仰月口」か？

道教に「開眉仰月口」は開運の秘訣という教えがあります。眉を開き、月を仰ぐような口をしていると良いことがどんどん起こるといいます。
その反対は「寄眉覆船口」。こちらは眉を寄せて船が転覆したような口をしている人で、こういう人からは運が逃げていきます。

言われてみればその通り。誰でも左側のような顔の人とは仲良くしたいけど、右側のような顔の人とは近づきたくないですよね。つまり、この教えは「良い顔の人は良いことがあるから良い顔をしているのではない。良い顔をしていると自然に良いことが寄ってくるのだ」ということなのです。



開眉仰月口　　寄眉覆船口

運の良い会社を発見するためのひとつの方法は企業トップの顔を見ることです。そして従業員の顔です。みんなが「開眉仰月口」であればその企業はどんどん運をつかむこと請け合い。長期投資にも適していることでしょう。こんな視点も銘柄選択で大切なのではないでしょうか。

バブルのピークでは全員が長期投資家になる

バブルがピークに近づいた時にアンケートをとると、ほとんどの投資家が「まあ、マーケットは時々は下がることもあるけど、長期に見れば上昇を続けるもんだ。だから、私は少々の下げにびくびくすることなく、じっくりと長期投資を続けるよ」というようなことを言うものです。みんな、マーケットはずっと上昇を続けると確信しているからこのような発言にな

Copyright ⓒI-O ウェルス・アドバイザーズ株式会社
発行人：岡本和久、発行：I-O ウェルス・アドバイザーズ株式会社
URL: http://www.i-owa.com；E-mail: info@i-owa.com

るのでしょう。

相場が良い時に長期投資を口にするのは誰でもできます。そんな時は逆に危ないのです。

で、いまは？2013 年の大幅な上昇を見て少し株式マインドは良くなっていると思います。しかし、それはまだまだほんの一部の短期売買が好きな方が多いのが現状でしょう。多くの方は、将来が不安、貯金をしているだけというのも不安、でも株式投資も不安という方が圧倒的です。短期取引の方ですら以下のような声を良く聞きます。

- 「どうせ、株なんて上がりっこない。株なんかやるより FX の方がずっと効率がいいし面白い」
- 「株式市場は狭いレンジでしか動かない。時々、面白そうな銘柄があったら、『早乗り、早降り』に限る」
- 「日本はもう成長しないだろう。株価と経済規模は大体パラレルだから日本株はもうだめだ」
- 「人口も減るし高齢化している。持続的に儲かる企業もなくなった。だから株式も短期で売買をしなければ危ない！」

本当に難しいのは相場が悪い時に長期投資を始めることです。そして、長期で報われるのは、環境の悪い時に行動をとった人たちだということです。以下のような注意点を頭に置いておけば安心だと思います。

- ✓ 一度に買わないでゆっくりと積み立て投資をする
- ✓ 一時的に大きな暴落があっても致命的にならない金額を株式に割り当てる
- ✓ 日本株だけでなく世界全体の株式指数に連動するインデックス投信を買う
- ✓ あまり株価を見ない

アセット・アロケーションを真剣に考える人ほどインデックス運用を使う

インデックス運用は、「パッシブ運用」と言われるように、何か消極的な投資であるような印象があります。しかし、実は、インデックス運用を使う人ほど、さまざまなインデックスをどのように組み合わせるかという「アセット・アロケーション」を真剣に考えている人たちなのです。

アクティブ運用のパフォーマンスは「市場パフォーマンス±アルファ」です。うまくいけばリターンは高いが、逆にいけば市場リターンよりも低くなってしまいます。当然のことなが

Copyright ⓒI-O ウェルス・アドバイザーズ株式会社

ら、市場平均の動きからは乖離します。

ポートフォリオの長期的なパフォーマンスは「アセット・アロケーション」が大部分を決定します。将来に向けて自分がどのようなリターンを狙うかを決めるときは、当然、国内外の株式や債券の指数を前提にその組合せ、つまり、アセット・アロケーションを決めます。これが資産の設計図です。

その次に、投資商品を部品として設計図通りに組み立ててポートフォリオを作ります。その時、部品である投資商品が指数と異なる動きをしていたらどうなるでしょう。せっかく作った設計図とは異なるパフォーマンスが生れてしまう可能性が大です。

長期的パフォーマンスの決め手であるアセット・アロケーションを真剣に考えるほど、その部品である投資商品はインデックス型のものにならざるを得ないのです。

『トーシカ・ホイホイ』にご用心

証券会社や銀行の営業マンが投信を勧めてきます。

「この投信はとても人気があります。値動きも堅調で面白そうです」と熱心に勧めます。「よし、それでは一口乗ってみようか」という訳で 100 万円を投資します。

それがうまく値上がりします。100 万円が三ヶ月で 110 万円になりました。悪くない！もうけの 10 万円で温泉行っておいしいものを飲んだり食べたりして、ハッピー！そして 10 万円を使い切るとまた、元手の 100 万円を別の投信に投資して再挑戦となります。

しかし、うまくいかないこともある。

残念ながら 100 万円が 70 万円になってしまった。「しょうがない。これはしばらく塩漬けだな・・・」。

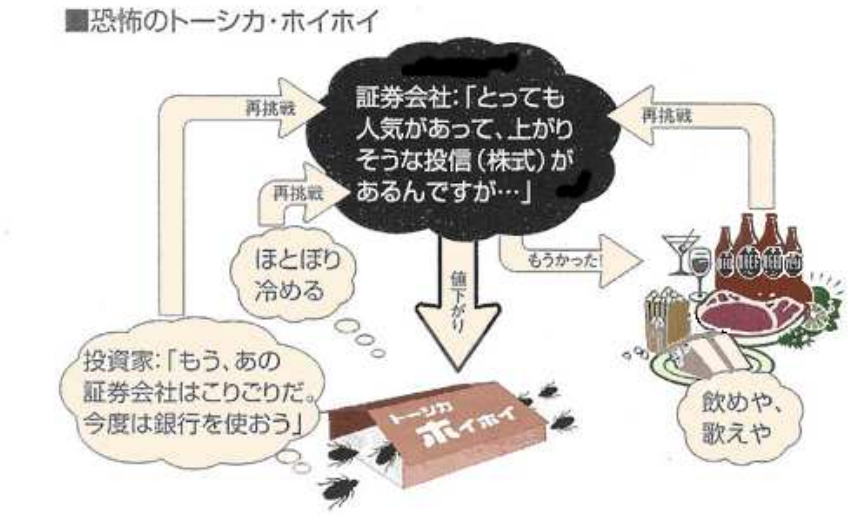
営業マンもしばらくはおとなしい。しかし、そこは営業マン。ほとぼりが冷めたころにはまた、「新しい投信がでます。今度こそはいけそうです。前回のロスを取り返しましょう！」などとアプローチしてきます。「本当かよ」とは思いつつも、やっぱり成功したときの楽しい思い出が頭をよぎり、「じゃあ、やってみるか」ということになる。しかし、今度も値下がり・・・。

Copyright ⓒI-O ウェルス・アドバイザーズ株式会社

そしてこれが数回、続きます。そうするとさすがに人の良いお客も頭にくる。

「もう、あの証券会社とは付き合わない。今度は別の銀行でやろう」ということになります。かくしてA証券のお客はB銀行のお客になり、B銀行のお客はC証券のお客になり、C証券のお客はA証券のお客となる。

そしてまた、同じプロセスが始まるのです。こうして値下がりで苦しむ投資家がどんどん増えていきます。まるでゴキブリ・ホイホイならぬ「トーシカ・ホイホイ」です。



この「トーシカ・ホイホイ」のワナはどこにあるのでしょうか。まず、「人気がある」というのは「みんなが買った」、つまり、「これ以上、買う人が減っている」ということです。それから「値動きが堅調」というのも「いま、上がっている」ということです。だから目標値が近づいてきている。つまり、これ以上、上値の余地が減っているということなのです。

でも、「この投信は人気がありません。値段も全然、動かず上がる気配もありません。だから買ってみませんか？」では商売にならないのです。やっぱり、景気よく「人気があって値上がりしている」方が売りやすい。つまり、売る側が売りやすい商品ほど高値づかみになりやすいという皮肉な、しかし厳然たる事実があるのです。その結果、「トーシカ・ホイホイ」はいつも満員御礼となっているのです。大切なことは自分の判断で投資を決めることに尽きます。

Copyright ⓒI-O ウェルス・アドバイザーズ株式会社

＜モデルポートフォリオ：2014年6月末の運用状況＞

単位：％

		トータルリターン				リスク	1万円ずつ積み立てた場合の投資額に対する騰落率			
		1カ月	1年	5年（年率）	10年（年率）	10年（年率）	1年 12万円	5年 60万円	10年 120万円	2000年1月～174万円
4資産型	積極型	2.61	18.25	11.54	5.02	16.46	8.44	51.68	45.61	55.10
	成長型	1.76	14.00	8.82	4.66	11.64	6.50	38.30	37.26	48.18
	安定型	0.91	9.80	5.96	4.06	7.28	4.56	25.74	28.43	39.84
2資産型	積極型	1.26	22.51	13.82	6.81	18.71	9.93	56.38	56.42	71.44
	成長型	0.93	17.32	10.45	5.98	13.71	7.76	43.28	45.49	61.27
	安定型	0.59	12.27	6.97	4.90	9.31	5.60	30.92	34.05	49.43

＊投資にかかるコストは控除していない。積み立ては、税引き前分配金再投資。ポートフォリオは毎月リバランスをしたものとする。
積み立ては計算月数分を運用したものとする。例えば1年の場合は2013年6月末に1万円投資資金を 積み立て始め、
2014年5月末の投資資金までとする（2014年6月末積み立て分は運用期間がないため含めていない）。
出所：イボットソン・アソシエイツ・ジャパンがMorningstar Directにより作成。MorningstarDirectについてのお問い合わせは
「投信まとなび」のお問い合わせメール（ https://www.matonavi.jp/inquiry ）にてイボットソン・アソシエイツ・ジャパンまで。

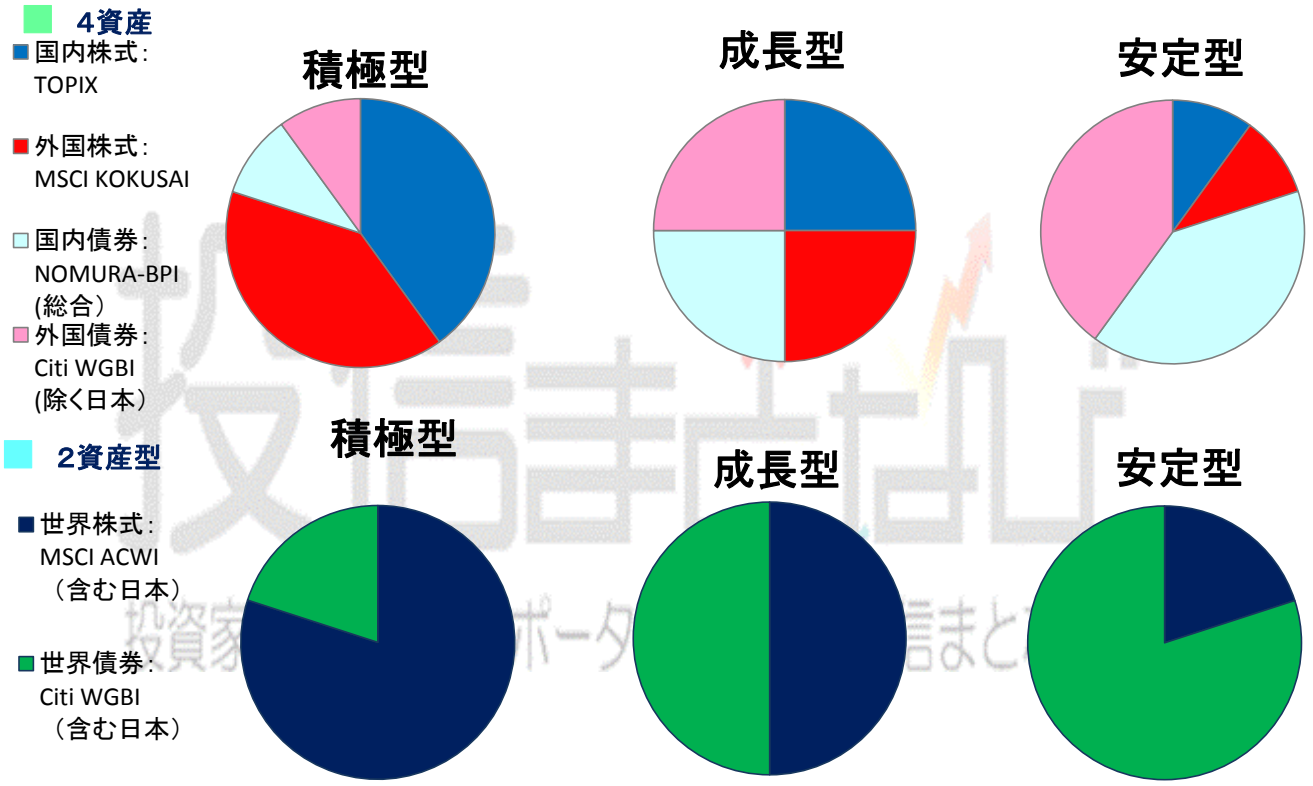
ポートフォリオの資産配分比率（外貨建て資産は円換算ベース）

		国内株式：TOPIX	外国株式：MSCI KOKUSAI	国内債券：NOMURA-BPI（総合）	外国債券：Citi WGBI（除く日本）
4資産型	積極型	40%	40%	10%	10%
	成長型	25%	25%	25%	25%
	安定型	10%	10%	40%	40%

		世界株式：MSCI ACWI（含む日本）	世界債券：Citi WGBI（含む日本）
2資産型	積極型	80%	20%
	成長型	50%	50%
	安定型	20%	80%

ポートフォリオは「インベストライフ」が参考のために考案した資産配分に基づき、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンがデータを算出しています。
特定の資産配分による投資の推奨を行うものではありません。

「長期投資仲間」通信『インベストライフ」の
その他の記事はこちらからご覧ください。
http://www.investlife.jp/



Copyright ©2014 Ibbotson Associates Japan, Inc.

＜純資産上位ファンド（毎月および隔月決算型を除く）：2014年6月末の運用状況＞

当資料は「インベストライフ」のために、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンがデータを算出、作成しています。特定の投資信託による投資の推奨を行うものではありません。
※ファンド名をクリックすると「投信まとなび」でそのファンドを見ることができます。

「長期投資仲間」通信『インベストライフ』のその他の記事はこちらからご覧ください。
http://www.investlife.jp/

今回順位	前回（14年3月末）順位	運用会社名	ファンド名	トータルリターン				リスク	1万円ずつ積み立てた場合の投資額に対する騰落率				1万円ずつ積み立てた場合の月末資産額				2014年6月末		イボットソン分類
				1ヵ月	1年	5年（年率）	10年（年率）	10年（年率）	1年 12万円	5年 60万円	10年 120万円	2000年1月～174万円	1年 12万円	5年 60万円	10年 120万円	2000年1月～174万円	純資産（億円）	基準価額（円）	
1	1	フィデリティ投信	フィデリティ・日本成長株・ファンド	4.91	11.64	8.38	1.48	20.67	5.49	43.05	27.95	29.59	12.66	85.83	153.54	225.49	3,513.3	15,653	国内株式・大型ブレンド型
2	2	さわかみ	さわかみファンド	4.36	18.75	8.57	3.17	19.70	8.60	43.77	33.24	46.89	13.03	86.26	159.89	255.59	2,947.8	17,921	国内株式・大型ブレンド型
3	3	日興AM	インデックスファンド225	3.66	12.13	10.20	3.58	21.42	4.94	49.81	39.39	42.39	12.59	89.89	167.26	247.76	2,397.0	4,115	国内株式・大型成長型
4	5	みずほ投信	MHAM株式インデックスファンド225	3.66	12.12	10.18	3.52	21.34	4.96	49.75	38.98	41.66	12.60	89.85	166.77	246.49	1,605.9	2,774	国内株式・大型成長型
5	4	三井住友AM	日興・新経済成長国エクイティ・ファンド《EG5》	-1.34	4.31	–	–	–	8.21	–	–	–	12.99	–	–	–	1,515.8	9,520	外国株式・新興国型(複数国)
6	6	DIAM	日経225ノーロードオープン	3.60	11.44	9.74	3.17	21.34	4.59	47.94	36.52	38.30	12.55	88.76	163.82	240.65	1,389.6	10,090	国内株式・大型成長型
7	7	JPモルガン	JPMザ・ジャパン	10.86	6.13	17.34	12.09	30.74	2.09	86.86	122.87	229.35	12.25	112.12	267.44	573.08	1,347.3	42,439	国内株式・小型割安型
8	-	野村AM	野村通貨選択日本株投信(米ドルコース)年2回決算型	2.48	10.91	–	–	–	3.91	–	–	–	12.47	–	–	–	1,283.4	11,070	国内株式・セクター型
9	8	ニッセイAM	ニッセイ/パトナム・インカムオープン	-0.16	8.32	7.91	3.60	9.70	4.03	29.98	31.07	36.01	12.48	77.99	157.29	236.65	1,160.2	6,756	外国債券・米国型
10	9	三菱UFJ投信	三菱UFJ Jリートオープン(3ヵ月決算型)	2.58	18.48	16.31	6.85	23.20	11.81	74.34	69.43	–	13.42	104.60	203.32	–	1,137.0	6,557	国内REIT
11	10	三菱UFJ投信	三菱UFJ インデックス225オープン	3.68	12.39	10.29	3.70	21.43	5.06	50.32	40.15	43.47	12.61	90.19	168.19	249.65	1,015.2	9,517	国内株式・大型成長型
12	11	日興AM	GW7つの卵	1.61	16.16	9.20	3.76	14.14	6.88	39.81	33.44	–	12.83	83.89	160.13	–	995.4	10,485	アセットアロケーション・積極型
13	-	JPモルガン	日興JPM環太平洋ディスカバリー・ファンド《TPパワー》	1.69	14.89	–	–	–	4.72	–	–	–	12.57	–	–	–	988.9	10,839	外国株式・世界型
14	12	野村AM	ノムラ日本株戦略ファンド《Big Project－N》	4.85	12.70	9.37	1.96	19.82	6.37	47.59	29.97	–	12.76	88.55	155.97	–	984.5	7,409	国内株式・大型成長型
15	13	三井住友AM	トヨタグループ株式ファンド	5.88	6.28	13.53	5.84	26.70	3.66	69.73	59.07	–	12.44	101.84	190.88	–	880.5	19,459	国内株式・地域/グループ型
16	15	大和投信	ストック インデックス ファンド225	3.66	12.09	10.18	3.52	21.41	4.93	49.69	39.07	41.78	12.59	89.81	166.88	246.70	834.1	6,827	国内株式・大型成長型
17	14	JPモルガン	JPM中小型株オープン	5.28	18.40	10.28	-1.01	21.87	6.92	55.86	29.00	30.27	12.83	93.51	154.80	226.68	824.5	9,324	国内株式・小型成長型
18	16	野村AM	グローバル・ハイインカム・ストック・ファンド	1.13	19.87	13.58	5.16	18.02	8.77	54.25	46.08	–	13.05	92.55	175.30	–	766.4	8,400	外国株式・世界型
19	19	HSBC投信	HSBC インド オープン	3.12	53.23	5.23	–	–	43.32	34.73	–	–	17.20	80.84	–	–	763.2	18,579	外国株式・インド型
20	20	セゾン投信	セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド	0.82	17.20	9.43	–	–	6.97	40.49	–	–	12.84	84.29	–	–	744.2	11,773	アセットアロケーション・積極型

投信まとなび
投資家のための情報ポータルサイト－投信まとなび

対象は追加型株式投資信託のうち2014年6月末時点で1年以上の運用実績があるもの（毎月・隔月決算型、ETF,DC・SMAなど専用投資信託を除く）。
積み立ては税引き前分配金再投資、計算月数分を運用したものとする。例えば1年の場合は2013年6月末に1万円で 積み立てを開始し、2014年5月末投資分までの2014年6月末における運用成果とする（2014年6月の積み立て額は入れない）。
出所：MorningstarDirectのデータを用いてイボットソン・アソシエイツ・ジャパンが作成。MorningstarDirectについてのお問い合わせは「投信まとなび」のお問い合わせメール（ https://www.matonavi.jp/inquiry ）にてお気軽にご送信ください。

Copyright ©2014 Ibbotson Associates Japan, Inc.